



紫色亀甲文切子鉢／中国／18世紀
サントリー美術館所蔵



ガラス胎琺瑯彩神仙文鼻煙壺(表と裏)／中国／20世紀
たばこと塩の博物館所蔵

エンペラー
中国清朝のガラス
はり
皇帝が愛したガラスの器

石川県能登島ガラス美術館

開館二十周年記念展



白地紅被唐子文蓋付壺／中国／18世紀
サントリー美術館所蔵



青地黄被花鳥文瓶／中国／18世紀
石川県能登島ガラス美術館所蔵

会期 平成23年4月23日(土)～6月26日(日)

休館日 ◆5月17日(火)

開館時間 ◆9:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)

観覧料 ◆一般800円／団体(20名以上)700円／中学生以下無料

主催 ◆七尾市、財団法人能登島ガラス美術館振興財団

協力 ◆サントリー美術館、たばこと塩の博物館

後援 ◆石川県日本中国友好協会

📻📺 金沢放送局、石川テレビ、テレビ金沢、北陸朝日放送、北陸放送、エフエム石川、ラジオななほ



石川県能登島ガラス美術館

NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10 TEL0767(84)1175
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/>

Ch'ing dynasty glass – “Po-Li”, the glass loved by Emperors –

中国清朝のガラス

エンペラー
皇帝が愛した玻璃の器

石川県能登島ガラス美術館は、平成3年にガラス専門美術館として開館しました。平成23年に開館20周年を迎えるにあたり、当館コレクションの一つである中国清朝のガラス工芸を紹介する展覧会を開催いたします。

中国清時代(1644~1911年)に独特な色彩と装飾のガラスが作られました。ガラスは「**玻璃**」と呼ばれ、透明感のない鮮やかな色ガラスに、吉祥文様の浮彫りがほどこされています。異なる色ガラスを層状に重ねて浮彫りにした「**被せガラス**」は、その代表的な装飾技法であり、ガラス界の巨匠エミール・ガレにも影響を与えたとされます。

清時代のガラス製造には、清朝の歴代皇帝たちが深く関わっています。清朝第四代皇帝の康熙帝(在位1661~1722年)は、宮廷内にガラス工房を築き、皇室で使用するガラス製品を作らせました。第六代皇帝の乾隆帝(在位1735~95年)は、海外からガラス製造の技術者を招き、清時代におけるガラス製造の最盛期をもたらしました。

本展では、当館が所蔵する清朝ガラスの作品群に、サントリー美術館、たばこと塩の博物館が所蔵する優品をあわせ、約170点を展示します。清朝の宮廷文化に彩られ、花開いた、個性的なガラス工芸「中国清朝のガラス」の世界をご紹介します。

写真左 黄色朝珠(部分)/中国/19世紀/石川県能登島ガラス美術館所蔵



■展覧会関連イベント■

◆“スペシャル”トーク『知られざる 清朝ガラスの魅力』

開催日時/5月7日(土) 午後2~3時

解説/美術工芸作家 土屋良雄氏

サントリー美術館企画委員でもある土屋良雄氏のギャラリートーク!

*入館券が必要です。

◆“スペシャル”コンサート

『二胡奏者チェンミン トーク&ライブ in能登島』

開催日時/6月5日(日) 午後2~3時

場所/ガラス美術館 新館ロビー

来日20周年を迎える二胡奏者チェンミンの中国悠久の奏!

*入館券が必要です。当日、整理券(先着50名)を配布します。

◆“スペシャル”体験コーナー『なりきりエンペラー』

開催日時/展覧会会期中

朝珠のレプリカを身につけて皇帝気分を体感しよう!

5月3・4・5日にはガラス玉作りの実演もあります。

*入館券が必要です。

■次回の展覧会■

石川県能登島ガラス美術館 開館20周年記念展 鏡のアート

会期 平成23年7月2日(土)~9月4日(日)

交通案内

電車・バス: JR和倉温泉駅から能登島交通バス「のとじま臨海公園行き」に乗り、約30分。

「美術館前」下車すぐ。

車: 能越自動車道田鶴浜料金所(能登有料道路 徳田大津JCT経由)から車で約25分。

飛行機: 能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間。



雪片地赤被鯉文鼻煙壺/中国/20世紀
たばこと塩の博物館所蔵

